



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 エイベックス株式会社

コード番号 7860

URL <https://avex.com/jp/ja/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO

(氏名) 松浦 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO

(氏名) 林 真司

(TEL) 03(6447)5366

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	100,312	△18.2	2,349	△60.5	1,799	△68.4	59	△97.5
2019年3月期第3四半期	122,621	1.3	5,952	28.0	5,691	16.8	2,417	14.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 622百万円(△77.9%) 2019年3月期第3四半期 2,815百万円(4.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	1.37	1.37
2019年3月期第3四半期	56.01	55.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	121,025	50,113	38.6
2019年3月期	125,808	52,055	38.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 46,700百万円 2019年3月期 48,524百万円

2 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	△43.6	1,000	△57.5	23.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社(社名) ー 除外 1社(社名) エンタメコイン(株)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	45,223,600株	2019年3月期	45,141,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,748,498株	2019年3月期	1,846,078株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	43,420,602株	2019年3月期3Q	43,158,433株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株会信託型ESOP信託口が保有する当社株式(2020年3月期3Q 70,900株、2019年3月期 111,100株)が含まれております。また、従業員持株会信託型ESOP信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2020年3月期3Q 93,290株、2019年3月期3Q 143,708株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	経営成績に関する説明	2
(2)	財政状態に関する説明	2
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(会計方針の変更)	8
	(追加情報)	8

1 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

第3四半期 連結累計期間実績	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	109,245	123,043	121,075	122,621	100,312
売上原価	77,511	90,479	86,050	87,729	71,437
売上総利益	31,733	32,563	35,024	34,891	28,875
売上総利益率	29.0%	26.5%	28.9%	28.5%	28.8%
人件費	8,551	10,008	9,843	9,936	8,860
販促宣伝費	8,338	6,581	6,773	6,931	5,932
一般経費	11,258	12,173	13,754	12,070	11,732
販管費合計	28,148	28,762	30,372	28,938	26,526
営業利益	3,585	3,801	4,651	5,952	2,349
営業利益率	3.3%	3.1%	3.8%	4.9%	2.3%

当社グループが属するエンタテインメント業界の環境としましては、音楽ビデオを含む音楽ソフトの生産金額が前年同期比4.7%減の2,291億29百万円(2019年1月～12月。一般社団法人日本レコード協会調べ)、有料音楽配信売上金額が前年同期比8.9%増の521億3百万円(2019年1月～9月。一般社団法人日本レコード協会調べ)となりました。映像関連市場につきましては、映像ソフトの売上金額が前年同期比10.8%減の1,589億19百万円(2019年1月～12月速報値。一般社団法人日本映像ソフト協会調べ)となったものの、映像配信市場は、映像配信サービスの強化や、テレビデバイス対応及び5Gの普及等ユーザーの利便性に繋がる環境の変化を踏まえ、今後も拡大することが予想されます。

このような事業環境の下、当社グループでは中長期的な成長を実現するために、ヒットコンテンツ創出に向けた積極的な投資や国内外の有望なパートナーとのアライアンスによる事業開発を進めるとともに、技術革新等に伴う市場環境の変化に呼応するための事業体制と活力ある人材を育成するための環境整備を全社的に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績としましては、アニメ・映像事業において映像関連イベント及び映像ソフト作品の販売が増加したことや、デジタル事業において販売費及び一般管理費が減少したものの、音楽事業において音楽ソフトの販売及びライブの公演数が減少したこと等により、売上高は1,003億12百万円(前年同期比18.2%減)、営業利益は23億49百万円(前年同期比60.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は59百万円(前年同期比97.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて47億83百万円減少し、1,210億25百万円となりました。これは主に、流動資産の「その他」が9億5百万円及び無形固定資産が3億27百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が52億76百万円及び建物及び構築物(純額)が5億7百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて28億41百万円減少し、709億11百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したものの、流動負債の「その他」が39億88百万円、長期借入金が増加したものの、未払金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて19億42百万円減少し、501億13百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきまして、2019年5月9日に公表いたしました「2019年3月期 決算短信」の予想を修正しております。

詳細につきましては、2020年2月6日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,832	17,556
受取手形及び売掛金	17,863	17,890
商品及び製品	1,799	1,949
番組及び仕掛品	3,924	3,985
原材料及び貯蔵品	390	447
その他	11,421	12,327
貸倒引当金	△185	△185
流動資産合計	58,047	53,970
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,473	15,965
土地	29,770	29,770
その他（純額）	1,403	1,093
有形固定資産合計	47,647	46,830
無形固定資産	4,729	5,056
投資その他の資産		
投資有価証券	8,509	8,595
その他	6,905	6,606
貸倒引当金	△31	△33
投資その他の資産合計	15,384	15,168
固定資産合計	67,761	67,054
資産合計	125,808	121,025
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,412	1,596
短期借入金	7,500	14,000
1年内返済予定の長期借入金	3,058	3,068
未払金	25,866	24,638
未払法人税等	986	402
賞与引当金	1,264	271
返品引当金	3,827	3,366
ポイント引当金	55	47
その他	20,300	16,312
流動負債合計	64,272	63,704
固定負債		
長期借入金	7,617	5,354
退職給付に係る負債	568	588
その他	1,293	1,263
固定負債合計	9,480	7,207
負債合計	73,753	70,911

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,333	4,392
資本剰余金	5,051	5,109
利益剰余金	42,888	40,735
自己株式	△3,565	△3,391
株主資本合計	48,708	46,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	140
繰延ヘッジ損益	—	2
為替換算調整勘定	△67	△83
退職給付に係る調整累計額	△237	△206
その他の包括利益累計額合計	△183	△146
新株予約権	513	444
非支配株主持分	3,017	2,968
純資産合計	52,055	50,113
負債純資産合計	125,808	121,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	122,621	100,312
売上原価	87,729	71,437
売上総利益	34,891	28,875
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	4,935	4,375
販売促進費	1,996	1,557
従業員給料及び賞与	5,943	5,522
賞与引当金繰入額	856	268
退職給付費用	218	308
その他	14,988	14,493
販売費及び一般管理費合計	28,938	26,526
営業利益	5,952	2,349
営業外収益		
受取利息	11	14
受取配当金	8	5
受取補償金	—	26
為替差益	136	—
その他	50	34
営業外収益合計	206	81
営業外費用		
支払利息	58	54
持分法による投資損失	317	376
投資事業組合運用損	82	87
その他	9	112
営業外費用合計	467	631
経常利益	5,691	1,799
特別利益		
投資有価証券売却益	—	120
新株予約権戻入益	231	12
事業分離における移転利益	56	—
特別利益合計	288	133
特別損失		
減損損失	304	85
固定資産除却損	8	87
投資有価証券評価損	—	58
事業整理損	336	30
事業整理損失引当金繰入額	449	—
持分変動損失	97	—
投資有価証券売却損	40	—
特別損失合計	1,235	262
税金等調整前四半期純利益	4,743	1,670
法人税、住民税及び事業税	2,305	838
法人税等調整額	△472	248
法人税等合計	1,832	1,086
四半期純利益	2,910	583
非支配株主に帰属する四半期純利益	493	524
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,417	59

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,910	583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	20
繰延ヘッジ損益	—	3
為替換算調整勘定	△67	△15
退職給付に係る調整額	△52	40
持分法適用会社に対する持分相当額	△72	△10
その他の包括利益合計	△95	38
四半期包括利益	2,815	622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,321	96
非支配株主に係る四半期包括利益	493	525

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、一部の在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当社グループ従業員の労働意欲の向上や経営参画を促すとともに、株式価値の向上を目指した経営を一層推進することにより中長期的な企業価値を高めることを目的とし、当社グループ従業員へのインセンティブ・プラン(以下、「当プラン」という。)として「従業員持株会信託型ESOP」(以下、「ESOP信託口」という。)を2017年8月に再導入しております。

1 取引の概要

当プランでは、「エイベックス社員持株会」(以下、「当社持株会」という。)へ当社株式を譲渡していく目的で設立するESOP信託口が当社持株会が取得する規模の株式を予め一括して取得して、信託の設定後約5年間にわたり当社持株会への売却を行います。

当社株式の取得及び処分については、当社と信託口は一体であるとする会計処理をしております。従って、信託口が保有する当社株式を含む資産及び負債並びに損益については、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に含めて計上しております。

2 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度169百万円、111千株、当第3四半期連結会計期間108百万円、70千株であります。

3 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度175百万円、当第3四半期連結会計期間140百万円